

公募型プロポーザル方式 対象案件に関する質問・回答

工事名	平成30年度 未利用エネルギー活用発電所建設工事
掲示日	平成31年1月11日
回答者	長野県企業局 南信発電管理事務所

No.	質問	回答
1	仕様書 2(2)-b. 機器用水(冷却水・封水)について、「予備設備について考慮すること。」との記載がありますが、予備設備とは何を指すのでしょうか？冷却水配管設備に予備システムの検討が必要とのことでしょうか？ (質問受付:平成31年1月24日)	「予備設備について考慮すること」とは、今回計画する発電設備(機器用水給水設備を含む)の一部に故障等の不具合が発生した場合においても、既設小洪第2発電所の運転に支障を生じさせない設備とすることを求めたものです。 (回答:平成31年1月29日)
2	既設減圧弁2次圧力実測値は0.38~0.4Mpaですが、機器契約仕様書の所要水圧(1.5~2kg/cm ²)を満足することでよいでしょうか (質問受付:平成31年1月25日)	既設小洪第2発電所の機器契約仕様書に記載の所要水量及び所要水圧は最低値であり、現状の実測値の水量及び水圧、並びに水質を満足させてください。 (回答:平成31年1月29日)
3	仕様書 2.(6)ランニングコストの小洪第2発電所に付帯する設備については電気使用量を算定するため、使用電力量を提示するとなっておりますが、付帯設備についてご教示いただきたい。 (質問受付:平成31年1月25日)	小洪第2発電所に付帯する設備は、新規発電所建設工事に伴い「小洪第2発電所本館建屋内設置される機器」及び「機器用水給水のための設備」が該当します。なお、付帯設備の使用電力量は、平均的な起動回数を年110回として試算してください。 (回答:平成31年1月29日)
4	発電最大電力の算出について、水槽水位(NWL:561.37m)、使用流量は分岐までは8m ³ /s、発電は0.29m ³ /sの条件で算出することよろしいでしょうか 第2発電所停止中の運転は行わない(従属運転) (質問受付:平成31年1月25日)	ご質問のとおりです。 (回答:平成31年1月29日)
5	想定電力量(年間)の算出について、発電最大電力量に年間運転時間(5,800時間)を掛け合わせることでいいですか。また記載は発電可能電力量でよろしいでしょうか(所内、停止率含まない) (質問受付:平成31年1月25日)	想定電力量は、年間運転時間5,800時間をベースとして新設発電所の所内電力及び停止率を考慮して算出してください。 (回答:平成31年1月29日)
6	水圧管路、冷却水管等について材質指定などはありますか (質問受付:平成31年1月25日)	特に指定する材質はありません。本工事において適用する規格等(仕様書Ⅱ-6-(3))により選定してください。 (回答:平成31年1月29日)
7	仕様書 2.水力発電所詳細設計(1)d.自立運転時に非常用電源として供給できることとあるが、供給容量の範囲(下限~上限)をご教示いただきたい。 (質問受付:平成31年1月25日)	既設小洪第2発電所の所内電力20~50kW程度を想定しています。 (回答:平成31年1月29日)